



白鳳点描

手間と時間をかけること

校長 水野 夏子



先日、愛知県小中学校 PTA 連絡協議会の総会に行ってきました。休憩をはさんで講演会が行われました。演題は「思春期の子育て講演会」です。

印象に残ったことは、子どもたちが問題行動を起こす原因は、「愛情バロメータが下がっている」ことによるものであること、そして、「子どもは手間と時間がかかるものに愛情を感じる」という言葉でした。講師のところへ相談に来る保護者の方々は、愛情をもって育てていらっしゃるのですが、親からの愛情が、子

どもの望む愛情と「ずれ」が生じているのだと言います。

では、子どもの望む愛情とは何なのでしょう。一つの例として、「料理」を挙げていました。ほぼ毎日料理を作る家庭は「愛情バロメータ」が高い子の割合が多いのだそうです。確かに料理は手間も時間もかかりますが、毎日食卓に並べても、いつものことで特別に感謝されることもないかもしれません。それでも、日々の積み重ねがじわじわと子どもに伝わっている可能性はあります。子どもは子どもなりに、親が忙しいことは分かっています。その中で、手間や時間をかけて作ってくれた料理、ましてや子どもの好きな料理を出してくれたら、子どもたちの心も体も満たされていく、そんな様子を想像しながら話を聞きました。また、子どもが朝起きてくる前に用意された朝食やお弁当、仕事から帰ったら息つく暇もなく夕食の支度をする後ろ姿、そんな様子を見て、子どもたちは「愛情」を受け取っているのかもしれませんが。「子どもは手間と時間がかかるものに愛情を感じる」という言葉は、子どもを取り巻く周囲の大人には耳の痛い話です。私は、日々の罪滅ぼしのために「特別」なことを用意してごまかしていた子育てを反省しました。「特別」なことは一時的な喜びはあっても、「愛情」が子どもの中にたまっていくことは、大人が思うほど期待できないのかもしれません。日々の生活の中にこそ、子どもが愛情を感じる場面がちりばめられているようです。

さて、夏休みが近づいてきました。「子どもは手間と時間がかかるものに愛情を感じる」のならば、親子で一緒にする活動を取り入れてみてはどうでしょうか。一緒に夕飯を作る、一緒に遊ぶ、一緒に〇〇を製作する、一緒に〇〇を練習する……。この夏休みに、親子で一緒に過ごした時間が子どもたちの「愛情バロメータ」を高めていってくれることを願います。

テレビや新聞では、水の事故のニュースが増えてきました。学校では、夏休み前に安全指導を行います。ご家庭でも水の事故や交通安全などについて十分ご注意ください。楽しい夏をお過ごしください。